

第19回交通科学シンポジウム開催の御案内

本学会では、日頃より交通事故の予防安全に携わる方々や一般の方などを対象に毎年シンポジウムを開催いたしております。この度、第19回シンポジウムを下記のとおり開催することになりましたので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、会場は、感染防止に十分配慮して開催いたします。また、オンラインでのご参加も可能です。

メインテーマ： 体調起因性事故予防に向けた「ドライバーモニタリング」及び運転支援技術

参加費：無料 定員：先着100名（現地/オンライン参加）

主催：（一社）日本交通科学学会

日時：2026年3月9日（月）13:30～16:50（受付開始 13:00）

会場：損保会館 大会議室 <https://www.sonpo-k.co.jp/company-overview.html>

（※シンポジウム内容等に関する損保会館へのご照会はお控えください。）

所在地：〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町二丁目9番地

プログラム

13:30～13:40	開会挨拶・本シンポジウム開催の経緯 一杉 正仁（一般社団法人 日本交通科学学会 会長・滋賀医科大学 社会医学講座 教授）
13:40～	シンポジウム
(13:40～14:00)	演題「健康起因性交通事故の予防と対処 — 医学的見地から —」 講師 三宅 康史（一般社団法人臨床教育開発推進機構 理事）
(14:00～14:20)	演題「先進運転支援システムで体調起因性事故は予防できるか？」 講師 一杉 正仁（滋賀医科大学 社会医学講座 教授）
(14:20～14:40)	演題「自動車運転者の疲労と疲労感の評価」 講師 松田 礼（日本大学工学部精密機械工学科 教授）
14:40～15:00	休憩
(15:00～15:20)	演題「運転時覚醒計測と低下防止システムの検討」 講師 三林 洋介（玉川大学工学部デザインサイエンス学科 教授）
(15:20～15:40)	演題「自動車ドライバーの視野急変時の運転行動分析と運転分析からみた異常検知」 講師 伊藤 大輔（関西大学 社会安全学部 安全マネジメント学科 教授）、國行 浩史（公立諏訪東京理科大学 工学部 教授）
(15:40～16:00)	演題「運転支援・自動運転技術における法的課題と健康起因事故 — 刑事責任を中心に —」 講師 馬場 美年子（慶應義塾大学 医学部総合医科学研究センター）
16:10～16:40	総合討論 パネルディスカッション
16:40～16:50	閉会挨拶 榎 徹雄（一般社団法人 日本交通科学学会 副会長・東京都市大学 理工学部 機械工学科 名誉教授）

《お申込み方法》

次ページのお申込書に必要事項をご記入の上、メールまたは FAX にてお申込み下さい。

お申込み締切：2026年3月5日（木）

※誠に恐れ入りますが、定員に達し次第募集を終了させていただきます。

送信先：一般社団法人 日本交通科学学会事務局 行

[【E-mail：jcts-office@tmg.or.jp】](mailto:jcts-office@tmg.or.jp)

[【FAX：045-435-9388】](tel:045-435-9388)

第 19 回交通科学シンポジウム参加申込書

下記をご記入の上、日本交通科学学会事務局迄お送りください。	
ふりがな	
ご芳名	
ご所属先	
ご連絡先	〒 TEL： E-mail：
ご参加方法	会場参加： <input type="checkbox"/> / オンライン(Zoom)： <input type="checkbox"/> <p style="text-align: right;">*いずれかをお選び下さい。</p>

■ 会場のご案内 ■



株式会社 損保会館

〒東京都千代田区神田淡路町 2-9 2F

TEL 03-3255-1299

- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2 出口 徒歩約 3 分
- ・東京メトロ丸ノ内線 淡路町駅 A5 出口 徒歩約 3 分
- ・都営新宿線 小川町駅 A5 出口 徒歩約 3 分
- ・JR 御茶ノ水駅 聖橋口 徒歩約 5 分
- ・JR 秋葉原駅 電気街口 徒歩約 5 分

《お問合せ先》

一般社団法人 日本交通科学学会 事務局

〒244-0003

横浜市戸塚区戸塚町 116-15

CI スクエア 4 階 402

(戸田中央メディカルケアグループ TMG 本部 横浜支部内)

TEL：045-435-9381 FAX：045-435-9388

E-mail：jcts-office@tmg.or.jp